

一般質問…ここが論点

12月定例会

12月定例会中、5日、6日、7日の3日間で、市政全般について17人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、12月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも3月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

西浦温泉



来本健作（会派がまこおり）

宿泊観光客の2割増加策について

問 市長選マニフェストにある宿泊観光客の具体的な増加策について伺う。

答 愛知万博後に宿泊客が落ち込んでいるが、昨年より2割増の100万人を目標とした。

「観光交流ウィーク」の充実と新事業の「癒しとアランチエイジング事業」を推進したい。また、温泉組合が掘り当てたラドン新泉源の効能を大々的に宣伝して

誘客に繋げたい。その他に高速道路が整備される北陸地域や外国人観光客の誘致も積極的に展開していく。

その他の質問

- 1 ブランディング戦略
- 2 観光人材育成と観光専門部局の設置

柴田安彦（日本共産党）

県議の市税滞納問題について

問 数年前より多額の市民税や固定資産税等の滞納があったと新聞報道されたが、市長はこの事実を知っていたかどうか。

答 徴収不能分の報告しか受けてないため、滞納があることは知らなかった。県議も含め、滞納者はすべて同じ取り扱いをしている。

問 法律では、給与所得者は、毎月の給料から天引きする特別徴収をしなければならぬとしている。

その決定権は市にあり、県議も特別徴収にすべきではないか。

答 実務として給与支払者の判断に委ねているのが現状である。特別徴収は滞納対策として有効と思われる。今後十分に研究検討をし、良い方向に進めたい。

大向正義（会派がまこおり）

医師会問題の今後は

問 委託費不正受給問題が発覚してから1年6カ月を経過しているが、全く進展がない。今後の市の対応について伺う。

答 医師会側の回答を待つている状態だが、回答がない場合は、日にちを切って催促したい。期限までに回答がされないとき、または、市の請求が拒否されたときは提訴を考えている。

問 市議会文教委員会正副委員長と人間ドック等の責任者が会談をした際、

医師給与の査定に異議がある旨の申し出がなされたが、市はどう考えるか。

答 医師の勤務状況が不明瞭なため、収入で按分する方法とした。これは市、

保健医療センター



医師会とも了承した案件で再考するつもりはない。

波多野 努（市政クラブ）

新年度予算編成について

問 市長3期目のスタートの年である平成20年度の重点施策は何か。

答 幹線道路・鉄道高架開連事業等の都市基盤整備、子どもの医療費助成の拡大など市長選でのマニフェストの実現に努めたい。大変厳しい財政環境であるが、新年度の歳入